

日本及び山喜農園の百合球根流通状況（参考）

（R3年12月15日付発行情勢報告をR4年1月15日に追加・修正）当社輸入状況（南半球産）+（NL産+FR産+B産）

及び16年産～22年産百合球根弊社出荷状況及び予定

（単位：1,000球）

	12月出庫 (南半球産)+(NL産+FR産+B産)	1月出庫	2月出庫	3月出庫	4月出庫	5月出庫	6月出庫
16年産	(4,663)+(462)	1,310	2,309	2,789	3,383	3,382	3,045
17年産	(4,332)+(570)	1,140	1,962	2,808	3,133	2,734	3,442
18年産	(3,578)+(0)	1,344	1,835	2,308	4,383	2,202	2,908
19年産	(3,366)+(476)	1,321	1,460	2,847	2,912	2,154	2,722
20年産	(2,972)+(368)	1,012	1,652	2,585	2,802	2,157	2,717
21年産	(2,719)+(360)						
22年産							

16年～21年南半球産球根の出庫数は掘り取り年の9月～翌年3月末日までの合計出庫数です。

22年の南半球産の出庫数は入荷予定数。

	7月出庫	8月出庫	9月出庫	10月出庫	11月出庫	12月出庫	当社輸入量	
							合計1	合計2
16年産	4,159	2,834	1,433	446	354	115	30,748	30,418
17年産	3,417	2,637	1,404	538	395	97	28,665	27,910
18年産	3,449	2,111	1,262	556	198	48	26,182	25,970
19年産	3,525	1,956	910	436	124	75	24,296	23,903
20年産	3,115	1,908	1,419	431	339	80	23,568	23,315
21年産								
22年産								

（単位：1,000球）

参考	※日本の百合球根輸入量(推定)	
	※合計計算式1 (南半球産)+(NL産+FR産+B産)	※合計計算式2
16年産	(24,430)+(91,199) = 115,629	114,952
17年産	(23,753)+(86,834) = 110,587	108,161
18年産	(21,327)+(81,865) = 103,192	103,171
19年産	(21,306)+(76,435) = 97,741	96,647
20年産	(20,212)+(74,062) = 94,274	94,405
21年産	(20,343)+(2,361)	
22年産		

（単位：1,000本）

※日本の百合切花輸入量(推定)	
16年	6,328
17年	6,433
18年	5,740
19年	4,459
20年	3,460
21年	2,896
22年	

※日本のオランダ産（NL産）・フランス産（FR産）・ベルギー産（B産）百合球根輸入量は、植物防疫統計より参照（掘り取り年の12月～翌年11月までの入荷数）。

※20年産（NL産+FR産+B産）の輸入球数は、掘り取り年12月末までの植検対象球数。**（昨年同期間比277.1%増、1,734,600球増加）（1月15日調べ）**

※日本の南半球産の輸入量は植物防疫統計より参照（掘り取り年と入荷年同一）

2021年産南半球産百合球根の発注確保球数は、N.Z産：13,523,075球、C.H産：6,708,725球＝20,231,800球。合計の増減は(0.1%増加)（R2.12月末まで20年産の植防値合計＝20年産輸入量：20,212,225球）

0.H・0.T：20,006,550球（4.0%増加）、A.H・L.A：225,250球（76.8%減少）（R3.9月16日調査）

2021年産の品目別増減とは、前年2020年産輸出球数との比較。（R2.12月輸出業者からの聞き取り調査数での比較。）

※合計計算式1：同一掘り取り年のNL産+FR産+B産+南半球産の輸入合計数

※月次の入荷量の動きは、当社Home pageに別途記載。

※合計計算式2：NL産+FR産+B産+翌年の南半球産の合計数

※日本の百合切花輸入量は植物防疫統計より参照（各年1月～12月までの植検対象本数）。

※21年の日本の百合切花輸入本数は12月末までの植検対象本数。**（昨年同期間比16.3減、564,340本減少）（1月15日調べ）**

※各々の統計は**速報値の為変更修正**が入る場合がある。

※月次の入荷量の動きは、当社Home pageに別途記載。